

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		上北台公民館事業 [上北台公民館事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	事業番号	6			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館 課 上北台公民館				係	課長名	越中 洋				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	1-2 ・ 5-3				
【施策名】 生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立						総合計画書 (ページ)	35・110				
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民 →				上北台地区の人口						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	地域で、学習の場に参加できる。 →				①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(3月末現在)						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤上北台公民館だよりの発行 →				①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤上北台公民館だよりの発行回数						
	単位		過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
3 経費	対象指標	①の数値	人	4,619	4,582	4,527					
	成果指標	②の数値	①人 ②人 ③グループ	①2,576 ②23,858 ③74	①2,113 ②21,914 ③62	①807 ②11998 ③61					
	目 標	②の目標値									
	目標値設定の考え方										
	成果指標(②)が増加することを目標とする										
3 経費	活動指標	③の数値	①回 ②回 ③回 ④% ⑤回	①17 ②42 ③4 ④65.6 ⑤3	①16 ②41 ③4 ④63.2 ⑤3	①10 ②27 ③1 ④54.2 ⑤3					
	事業費(実績)	円	3,347,429	3,801,063	3,096,413	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	3,252,759	3,696,573				3,039,753		
		特定財源(国・都・他)	円	94,670	104,490				56,660		
		(うち受益者負担)	円	94,670	104,490				56,660		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0				2.0		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0				0.0		
職員人件費(再任用以外)		円	16,488,000	16,620,000	16,760,000						
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費	円	19,835,429	20,421,063	19,856,413							
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成5 年度										
	(2) 環境の変化 平成5年5月10日、市内5番目の公民館として開館。 平成27年10月より、公共施設予約システムを導入。 講座後に新たに自主活動を始める保育付サークルも少しずつ増えてきているが、子どもが卒室すると継続しにくい現状がある。										

事業名称	上北台公民館事業 [上北台公民館事業]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	上北台公民館	係 課長名 越中 洋

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 上北台市民センターの中に上北台公民館があることが初めて来る人にはわかりにくいので、表示などができないかという意見があった。これに対し、3階の窓に上北台公民館の表示を掲載するなどの対応をした。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う臨時休館や利用制限について問合せを受けた。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：①、②、③、⑤、⑥、⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 日頃から利用者とのコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を築いていくことが、さらに適した協働の形態とするために必要である。			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 講座や事業の設定を土曜日などにしても、こちらの意図した世代の参加が少なく、ニーズに合った内容になっているかについて検討する必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座が中止や延期となり予定していた内容が実施できない事業があった。実施した講座については、過去のアンケートなどを参考に幅広い世代が参加できる曜日や内容を検討し、実施に努めた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 市民が希望する講座や事業を実現するための環境を整えていく必要がある。 また新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策をしながら、新たな形式での事業を検討する必要がある。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮しながら、講座や事業の実施形態を再検討する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な対策と情報収集をする。			